

**《International Workshop 3》**  
**Language Description and Documentation**  
National Museum of Ethnology, Osaka, Japan  
September 28, 2013

Abstract

**Creating a Language Map and Utilizing It (Japanese Sign Language Dialects)**

**OSUGI Yutaka**

Tsukuba University of Technology

&

**OKADA Tomohiro**

Tsukuba University of Technology

1. The Growing Importance of Sign Language Resources

First, we point out the growing importance of sign language resources in the context of social recognition on the linguistic status of sign languages, for example, the sign language ordinance presented to Tottori prefectural assembly.

2. Research on Development of Japanese Sign Language Map

Next, we introduce the prototype model of Japanese Sign Language (JSL) Map (Osugi, 2010) to show how regional and generational variation on lexical forms are observed among JSL signers. We may use the lexical items, “dog” and “monkey”, as concrete examples, then demonstrate that the lexical sharing phenomenon is occurring on sign language users in Japan (Osugi, 2012).

3. Corpus Project in Colloquial Japanese Sign Language

Third, we report the progress on the other project “Corpus project in colloquial Japanese Sign Language” (Bono, Osugi, and Kikuchi, 2012), and we explain how this corpus is available to researchers for study. We may use again the same lexical items, “dog” and “monkey”, as examples.

4. Analytic Study on Lexical Data from the Corpus

Finally, we introduce our recent analysis on lexical data from the corpus. This analysis will demonstrate how the lexical items which are generally taken as homonyms on JSL vocabulary books (e.g., “moon” and “Monday”, “fire” and “Tuesday”) are expressed in various ways.

**References**

大杉豊(2010). 『日本手話言語地図 (試作版)』. ウェブ公開.

<http://www.deafstudies.jp/osugi/jslmap/>

大杉豊(2012). 日本の手話における語彙共通化現象. 『手話学研究』第21巻, 15-24.

日本手話学会.

坊農真弓, 大杉豊, 菊地浩平(2012). 「日本手話話し言葉コーパス」の構築に向けて. 日本手話学会第38回大会予稿集, 8-9. 日本手話学会.

坊農真弓, 大杉豊, 菊地浩平(2013). 『日本手話話し言葉コーパス』. ウェブ公開.

日本語: <http://research.nii.ac.jp/jsl-corpus/>

English: <http://research.nii.ac.jp/jsl-corpus/en/>

岡田智裕, 大杉豊, 坊農真弓, 菊地浩平(2013). 「日本手話話し言葉コーパス」の可能性-語彙課題のデータを分析する-. 日本手話学会第39回大会予稿集, (印刷中). 日本手話学会.

## 《国際ワークショップ3》

### 言語の記述・記録

国立民族学博物館, 大阪

2013年9月28日

#### 講演要旨

### 「言語地図の作成と利用（日本手話の方言）」

#### 大杉豊

筑波技術大学・国立民族学博物館

&

#### 岡田智裕

筑波技術大学

#### 1. 手話言語資源の重要性の高まり

はじめに、手話が言語であることを前提にした新しい動きがある社会的な背景（鳥取県手話言語条例など）の中、様々な分野で手話言語資源の重要性が高まっていることを説明する。

#### 2. 日本手話言語地図作成研究

次に、大杉(2010)の日本手話言語地図（試作版）を紹介して、日本手話の語彙について地域によって様々な表現が観察されることを説明する。例として「犬」と「猿」を取り上げる。そして全国的な語彙共通化現象が起きていることを示す(大杉 2012)。

#### 3. 日本手話話し言葉コーパスのプロジェクト

日本手話話し言葉コーパスのプロジェクトが進行中であることを報告し、このコーパスを利用しての研究の可能性について説明する。坊農、大杉、菊地(2012)。なお、「犬」と「猿」を例として紹介する。

#### 4. コーパスの語彙データの分析研究

最後に、日本手話話し言葉コーパスにある語彙データの分析例を紹介する。手話単語集で同音異義語とされる傾向のある数語（「月」と「月曜日」、「火」と「火曜日」など）を対象とする分析でわかったことを説明する。

#### 参考文献

大杉豊(2010). 『日本手話言語地図（試作版）』. ウェブ公開.

<http://www.deafstudies.jp/osugi/jslmap/>

大杉豊(2012). 日本の手話における語彙共通化現象. 『手話学研究』第21巻, 15-24.

日本手話学会.

坊農真弓, 大杉豊, 菊地浩平(2012). 「日本手話話し言葉コーパス」の構築に向けて. 日本手話学会第38回大会予稿集, 8-9. 日本手話学会.

坊農真弓, 大杉豊, 菊地浩平(2013). 『日本手話話し言葉コーパス』. ウェブ公開.

日本語: <http://research.nii.ac.jp/jsl-corpus/>

English: <http://research.nii.ac.jp/jsl-corpus/en/>

岡田智裕, 大杉豊, 坊農真弓, 菊地浩平(2013). 「日本手話話し言葉コーパス」の可能性-語彙課題のデータを分析する-. 日本手話学会第39回大会予稿集, (印刷中). 日本手話学会.